

学習課題(中学校3年生)



【国語】

<学習内容>

○教科書の「君待つと一万葉・古今・新古今（P144～152）」を読んで、和歌に表れた作者の心情や情景を想像し、鑑賞文を書いてみよう。そして、感じたことを家の人に伝えよう。

<取り組み方>

- (1) 教科書 P146・147「古今和歌集 仮名序」を読んで、和歌とはどのようなものであるか確認しよう。
 - ・原文と現代語訳を1回ずつ声に出して読んでみよう。
 - ・原文を読むときには歴史的仮名遣いに気を付けよう。現代仮名遣いに直すものは、取組シートにまとめておこう。
〔例〕 思ふこと → 思うこと
あはれと思はせ → あわれと思わせ
- (2) 教科書 P144にある「和歌の世界」を読み、「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」の特徴や情報をまとめよう。
 - ・いつの時代にできた歌集だろう？
 - ・どんな人がつくった和歌が載っている歌集だろう？
 - ・どのくらい（数）の和歌が載っているのだろうか？
 - ・歌にはどんな特徴があるだろう？
※興味があれば、万葉集の序文についても調べてみよう。「令和」の語源も分かるかもしれませんよ。
- (3) 教科書 P148～152にある「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」の15首の和歌を声に出して読もう。また、それぞれの和歌の左にある現代語訳も確認しよう。
 - ・和歌の基本である「五・七・五・七・七」を意識してリズムよく読んでみよう。字余りがある和歌もあるので気を付けて読もう。
 - ・歴史的仮名遣いに気を付けて読もう。現代仮名遣いに直すものは、取組シートにまとめておこう。
- (4) 15首の和歌の中から印象に残った一首を選び、作者の心情や情景を考えながら、鑑賞文を書いてみよう。
次の条件に従って書いてみよう。
【条件】
 - ①200～300字程度で書くこと。
 - ②歌に描かれた情景を想像して書くこと。
 - ③歌から読み取れる作者の心情を想像して書くこと。

④歌を読んで感じたことを書くこと。

〔書き方の例〕

私は〇〇集の「～～」という和歌を選びました。
この和歌には、▲▲な情景が描かれていると思います。
また、作者の●●という心情が読み取れます。
この和歌を読んで、私は△△ということを感じました。

※時間がかかってもよいので、①～④の条件を満たせるように取り組んでみよう。
※絵で表現してみてもよいかもしれません。

(5) (1)～(4)でまとめたことを家の人に伝えてみよう。

※(1)～(4)に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※(5)について、家の人に伝えるのが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人があると想像して、自分の考えを声に出して説明するというだけでもかまいません。